



タイトル「**2023年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4606		
科目名	ゼミナールⅡ		
担当教員	鈴木 典		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	月 4		
講義室	1210	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP3-G（状況把握力・判断力）自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 DP4-F（探求力・課題解決力）問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP4-I（理解力・分析力）文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP5-J（創造的挑戦力・達成力）コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイディアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 DP8-M（省察力）知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■CRコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（CR）との関連 F1 探求と論拠（15%） F2 課題解決（15%） G1 状況把握（20%） I1 理解・分析と読解（10%） I2 量的分析（10%） I3 情報分析（10%） J1 継続的学修基盤（5%） J2 創造的思考（5%） M1 総合的・応用的学修（10%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発目標ステージとの対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	ゼミナールⅠに続き、グループでの作業を進め、最終的には研究発表会を開催します。研究発表会に向けて、研究のプレゼンテーション方法について実践を通して学んでいきます。また、卒業研究や卒業論文として各自が取り上げたい課題を選択していく準備を行い、論文の書き方についても理解を深めていきます。授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード 研究、省察、反省の実践		

授業の趣旨	■副題 スポーツ科学に関する研究の実践および発表と振り返り ■授業の目的 学習した内容を基に自身もしくはグループでゼミナールⅠにおいて立案した研究計画の再検討を行い、それを実践し、研究結果に関する他者との議論内容を踏まえ、発表することができることを目的とします。 ■授業のポイント 研究計画を作成・実践する過程において、冬季競技種目、および測定競技系・循環運動種目・持久系種目を中心とした分野、領域の研究方法に関し、汎用性や限界を含めて学修します。研究計画を実践し、研究結果に関する教員の解説や学生間の議論の内容を踏まえ、解り易いプレゼンテーションを実施する方法を学修します。	
総合到達目標	■研究計画を作成・実践する過程において、冬季競技種目、および測定競技系・循環運動種目・持久系種目を中心とした分野、領域の研究方法に関し、汎用性や限界を含めて理解する。さらに、卒業研究・卒業論文に向けた調査・実験・測定からプレゼンテーションに至る方法を演習により体験的に修得する。 ・ゼミナールⅠの予備調査・実験・測定結果の問題点や課題を列記し、ゼミナールⅡにおける研究計画を具体的に述べるができる。（第2～4回） ・研究計画に基づき、調査・実験・測定を実施することができる（第5～8回） ・研究結果について、PCや視聴覚機器を利用した方法により、プレゼンテーションを実施することができる。（第9回～12回） ・プレゼンテーションの結果を他者との討議を含め省察し、卒業研究、卒業論文に向けた問題点や課題を具体的に述べるができる。（第13～15回）	
成績評価方法	■リアクションペーパー（30%）適用ルーブリック G1、J1、J2 （評価の観点）研究計画の再検討、研究の実践、研究成果の整理と発表準備に関し、他者の研究手法の情報などの当該授業内容について、授業終盤にリアクションペーパーの記載を行い内容の評価を行います。 （フィードバックの方法）リアクションペーパー提出後、訂正や補足などを含め、内容の振り返りを行います。 ■プレゼンテーション（70%）適用ルーブリック F1、F2、I1、I2、I3、J1、J2、M1 （評価の観点）自身またはグループの研究実践結果を発表し、その内容について評価を行います。 （フィードバックの方法）各発表後に訂正や補足などを含め、解説と講評を行います。	
履修条件	ゼミナールⅠ（SSCS4605）を履修していること。	
履修上の注意点	研究計画立案（ゼミナールⅠの精査）から研究成果のプレゼンテーションに至る過程を通し、卒業論文、卒業研究の指針を明確にすることが本ゼミナールの重要な課題となります。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価について説明を行い、授業の概要やその方法について理解し、授業でどのような内容を学ぶかについての準備を行う。（G1、I1） ③予習（120分）シラバスを読み、授業の流れについて確認する。 ④復習（120分）ガイダンスによって説明された内容を踏まえ再度シラバスを確認し授業概要を確認する。
	2	①授業テーマ 研究計画の再検討① ②授業概要 ゼミナールⅠの研究計画と予備的調査・実験・測定結果の問題点や課題を挙げ、ゼミナールⅡの研究計画を整理することができる。（F1、F2、G1、I1） ③予習（120分）研究計画を実行するための現実的な課題について確認する。 ④復習（120分）研究計画を実行に移していくために必要な準備事項を確認する。
	3	①授業テーマ 研究計画の再検討② ②授業概要 ゼミナールⅠの研究計画と予備的調査・実験・測定結果の問題点や課題を挙げ、ゼミナールⅡの研究計画を整理することができる。（F1、F2、G1、I1） ③予習（120分）研究計画を実行するための現実的な課題について確認する。 ④復習（120分）研究計画を実行に移していくために必要な準備事項を確認する。
	4	①授業テーマ 研究計画の再検討③ ②授業概要 ゼミナールⅠの研究計画と予備的調査・実験・測定結果の問題点や課題を挙げ、ゼミナールⅡの研究計画を整理することができる。（F1、F2、G1、I1） ③予習（120分）研究計画を実行するための現実的な課題について確認する。 ④復習（120分）研究計画を実行に移していくために必要な準備事項を確認する。

5	①授業テーマ 研究の実践① ②授業概要 研究計画に基づき、調査・測定・実験を実施することができる。（F 2、G 1、I 1、I 2、I 3） ③予習（120分）研究計画を実行するための準備を実施する。 ④復習（120分）研究を実践して行く過程での課題や修正点を整理する。
6	①授業テーマ 研究の実践② ②授業概要 研究計画に基づき、調査・測定・実験を実施することができる。（F 2、G 1、I 1、I 2、I 3） ③予習（120分）研究計画を実行するための準備を実施する。 ④復習（120分）研究を実践して行く過程での課題や修正点を整理する。
7	①授業テーマ 研究の実践③ ②授業概要 研究計画に基づき、調査・測定・実験を実施することができる。（F 2、G 1、I 1、I 2、I 3） ③予習（120分）研究計画を実行するための準備を実施する。 ④復習（120分）研究を実践して行く過程での課題や修正点を整理する。
8	①授業テーマ 研究の実践④ ②授業概要 研究計画に基づき、調査・測定・実験を実施することができる。（F 2、G 1、I 1、I 2、I 3） ③予習（120分）研究計画を実行するための準備を実施する。 ④復習（120分）研究を実践して行く過程での課題や修正点を整理する。
9	①授業テーマ 研究結果の整理および発表準備① ②授業概要 研究計画に沿って行われた調査・測定・実験結果を整理し（データ処理）、発表の準備（プレゼンテーション資料の作成）を行うことができる。（F 2、G 1、I 1、J 2） ③予習（120分）データ処理方法、プレゼンテーション資料の作成方法を確認する（Excel、Power Pointの使用方法の再確認を含む）。 ④復習（120分）授業内容を踏まえ、データ処理とプレゼンテーション資料の作成方法を精査する。
10	①授業テーマ 研究結果の整理および発表準備② ②授業概要 研究計画に沿って行われた調査・測定・実験結果を整理し（データ処理）、発表の準備（プレゼンテーション資料の作成）を行うことができる。（F 2、G 1、I 1、J 2） ③予習（120分）データ処理方法、プレゼンテーション資料の作成方法を確認する（Excel、Power Pointの使用方法の再確認を含む）。 ④復習（120分）授業内容を踏まえ、データ処理とプレゼンテーション資料の作成方法を精査する。
11	①授業テーマ 研究結果の整理および発表準備③ ②授業概要 研究計画に沿って行われた調査・測定・実験結果を整理し（データ処理）、発表の準備（プレゼンテーション資料の作成）を行うことができる。（F 2、G 1、I 1、J 2） ③予習（120分）データ処理方法、プレゼンテーション資料の作成方法を確認する（Excel、Power Pointの使用方法の再確認を含む）。 ④復習（120分）授業内容を踏まえ、データ処理とプレゼンテーション資料の作成方法を精査する。
12	①授業テーマ 研究結果の整理および発表準備④ ②授業概要 研究計画に沿って行われた調査・測定・実験結果を整理し（データ処理）、発表の準備（プレゼンテーション資料の作成）を行うことができる。（F 2、G 1、I 1、J 2） ③予習（120分）データ処理方法、プレゼンテーション資料の作成方法を確認する（Excel、Power Pointの使用方法の再確認を含む）。 ④復習（120分）授業内容を踏まえ、データ処理とプレゼンテーション資料の作成方法を精査する。
13	①授業テーマ 研究成果の発表① ②授業概要 研究成果をプレゼンテーションすることができる。（F 2、G 1、I 1、J 1、J 2、M 1） ③予習（120分）実際のプレゼンテーションを想定し、資料の整理と解り易い発表方法を確認する。 ④復習（120分）発表を振り返り、必要な修正や、卒業研究、卒業論文に向けた課題の選出を行っておく。

	14 ①授業テーマ 研究成果の発表② ②授業概要 研究成果をプレゼンテーションすることができる。(F 2、G 1、I 1、J 1、J 2、M 1) ③予習(120分) 実際のプレゼンテーションを想定し、資料の整理と解り易い発表方法を確認する。 ④復習(120分) 発表を振り返り、必要な修正や、卒業研究、卒業論文に向けた課題の選出を行っておく。
	15 ①授業テーマ ゼミナールⅡのまとめ ②授業概要 ゼミナールⅡで行われた授業内容を振り返り、卒業研究、卒業論文に向けて必要な情報を整理することができる。(F 2、J 1、J 2、M 1) ③予習(120分) 研究計画の再検討から、プレゼンテーションに至る学修を振り返り、問題点や課題を整理する。 ④復習(120分) 卒業研究、卒業論文に向けた課題を整理する。
関連科目	コーチング学研究法演習(SSCS2317)、ゼミナールⅠ(SSCS4605)
教科書	特に指定しません。
参考書・参考URL	青木純一郎他編：高地トレーニングの実践ガイドライン，市村出版，2011，ISBN 978-4-902109-25-2 中野昭一他編：運動とエネルギーの科学，杏林書院，1996，ISBN 4-7644-1030-3 石井清一他編：スキーマの医学，南江堂，1995，ISBN 4-524-20994-8 山地啓司著：最大酸素摂取量の科学，杏林書院，1992，ISBN 4-7644-1023-0
連絡先・オフィスアワー	オフィスアワー 開講時に告知します。 オフィスアワー以外の時間は事前に日時を調整し、研究室、またはコモンスペースで対応します。
研究比率	

